

【現在の状況】

- 令和元年度に第1回会議で挙げた意見を基にした本会議における「検討テーマの方向性等の選定に係る調査」を行い、各委員の考えや検討テーマ案等をまとめた。（詳細：参考資料1）
※当該調査結果は、本会議の基礎資料として今後も活用していく。
 - 上記調査をまとめていく中で、「④個別課題」（人手・人材不足や社員教育等）を「①知る・知らせる」「②新たに取り組む」「③学ぶ」の各テーマと関連させた意見がいくつか見られた。（詳細：参考資料2）
 - このため、座長・副座長協議を行い、各テーマを個別に検討するのではなく、「④個別課題」を基礎テーマとし、その解決方法にアプローチする視点として、①～③の各テーマを結びつけて検討していくこととなった。
 - 現在はコロナ禍によってステージが大きく変化したため、再度座長・副座長協議を行い、「④個別課題」を「コロナ禍における共通課題」（新しい働き方の導入や人材の育成等）に変更し、その解決方法を①～③の視点からアプローチして検討していくこととした。
- 【令和2年度第2～3回会議までの進め方】**
- 第2回（今回）はコロナ禍による「共通課題」にスポットを当て、グループワークによる「共通課題の洗い出し」と「その解決方法」について、「①知る・知らせる」「②新たに取り組む」「③学ぶ」の視点から、その解決方法等の検討を行う。
 - 第3回（次回）は今回挙げた意見を整理し、それを基に市へ提案する意見として取りまとめを行う。

令和2年度 第2回

※今回はこの部分です！

令和2年度 第3回

(R2. 9月上旬開催予定)

基礎テーマ（コロナ禍における共通課題）

コロナ禍における共通課題の例

◆ 新しい働き方の導入

- リモートワークの導入（テレワークや在宅勤務等）
- 副業・兼業の環境整備
- ワークシェアリングの実施 etc.

◆ 人材の育成

- ポスト・コロナ対応人材の育成
- リカレント教育の実施 etc.

◆ 事業の継続

- BCPの策定
- 感染防止のための設備導入 etc.

などなど・・・

解決方法にアプローチする視点

視点① 「知る・知らせる」

- ◆ 中小企業・小規模企業の実情を「知る」
- ◆ 市や中小企業等の取組を「知らせる」

視点② 「新たに取り組む」

- ◆ リモートワーク、副業・兼業等に「新たに取り組む」

視点③ 「学ぶ」

- ◆ 学生等が地元中小企業等について「学ぶ」
- ◆ 社会人が仕事上のスキル向上等のために「学ぶ」

各視点による課題解決方法や提案意見の検討

課題解決のための意見提案

「知る・知らせる」の意見提案の例

- ◇ 課題点：中小企業等の実情が知られていない。
⇒ 提案意見：応援会議のネットワーク等を活用した調査の実施の検討。
市や中小企業等の取組を周知するためのH Pの作成の検討。

「新たに取り組む」の意見提案の例

- ◇ 課題点：新しい働き方を導入するための資金がない。
⇒ 提案意見：実施費用の一部助成の検討。
- ◇ 課題点：BCPを策定したいが、どこから取り組めばいいかわからない。
⇒ 提案意見：専門家による策定指導の実施の検討。

「学ぶ」の意見提案の例

- ◇ 課題点：地元中小企業を学ぶ機会が少ない。
⇒ 提案意見：オンラインによる地元中小企業について学ぶ機会の創出の検討。
- ◇ 課題点：リカレント教育を行える機会が少ない。
⇒ 提案意見：応援会議のネットワーク等を活用したリカレント教育の実施の検討。

◎本会議における提案意見検討の際の根本的なテーマ（土台）：「しずおか愛」（しずおかを愛する心）

しずおか愛とは…

- しずおかの企業をより知りたい
- しずおかのことをよく知って欲しい（魅力を伝えたい）
- 生まれ故郷のしずおかで働きたい、副業したい
- しずおかで働きつづけたい



「しずおか愛」の種をまいて育て、その心を中小企業振興につなげる